

# 和歌山だよいい

令和4年  
(2022) 5月号



白良浜 (白浜町)

白浜の名の由来にもなった延長約620mに渡る白砂の浜。雪のように白く明るいこの美しいビーチは、平安時代から室町時代にかけて歌枕として数多くの歌の中にも読みこまれているほど。また、5月3日に海開きを行い、6年ぶりに「本州一早い夏、一番長い夏」が訪れました。白い砂、エメラルドグリーンの海など、姉妹浜のワイキキビーチを連想させるリゾート気分が味わえます。(写真提供:公益社団法人和歌山県観光連盟)

## CONTENTS

- 1 知事メッセージ . . . . . p. 1
- 2 和歌山県政トピックス . . . . . p. 2 ~ 9
- 3 お知らせ . . . . . p. 10 ~ 14
- 4 ふるさと歳時記 . . . . . p. 15



## 県行政報告会

私のような県の行政をお預かりしている者にとっては、県民の皆さんに県の行政をご理解いただくことはとても大事なことです。そのため、いろいろな工夫をするわけです。「県民の友」などでご説明するのもその一つだし、テレビやホームページや SNS などでどんどん施策の考えや内容を発表しています。

また、比較的好評なのは、毎年県内で開いている県行政報告会です。これは、毎年 1 回、私が県内全市町村に出かけ、住民の方々に直接その年の新政策を説明するというものです。新政策は、いつも言っているように、まったく新規の政策のみならず、前からの重要施策を含め、その年の政策のラインナップというような意味で、県としては、今年はどういうことをいたしますという説明をするわけです。何故よくある「県政報告会」ではなく「県行政報告会」かということ、これは県の公式行事ですから、政治色をなくし、純粋に県の行政に話題を限りたかったからです。

各地では、市町村長さんや自治会長さんたちのご協力を得て、住民の皆さんにお声をかけていただいています。各地のホールや公民館などでお話をします。大体 90 分のお時間をいただいて、私からお話をした後、質疑応答の時間を取りたいのですが、説明だけで少々延長ということが多く、質疑は私が少し居残りをしてお受けするというにしています。

ところがコロナです。感染状況によっては、大勢の人々に集まってもらうこと自体がどうかという時もありますので、テレビ和歌山の県提供番組「きのくに 21」（日曜 9 時 30 分及び 18 時）で流させてもらうことにしました。コロナが収まったら、また現地実演版も復活したいと思いますが、テレビ放映のほうがより大勢の方に見てもらえるかなとも思います。今年度は、4 月 17 日から毎週 8 回に分けて放送しておりますが、見損なったという方は県庁ホームページの「和歌山県インターネット放送局」で見られますので、ぜひご覧ください。

令和 4 年度も一生懸命考えた政策がたくさん出てきますよ。

【和歌山県インターネット放送局 URL】

[https://www.pref.wakayama.lg.jp/bcms/nettv/p\\_ch4/01\\_kinokuni21.html](https://www.pref.wakayama.lg.jp/bcms/nettv/p_ch4/01_kinokuni21.html)

和歌山県知事 仁坂吉伸



4/25 記者会見にて

### ● 「2025年大阪・関西万博 機運醸成シンポジウム」を開催しました

県及び県商工会議所連合会では、開幕まで3年を切った「2025年大阪・関西万博」の成功に向けて、県民の理解を深めるとともに、関西全体で万博を盛り上げていく機運を高めることを目的として、4月29日に「2025年大阪・関西万博 機運醸成シンポジウム」を和歌山県民文化会館とオンライン同時配信で開催し、約1,500人が参加しました。

基調講演では、二階俊博衆議院議員から「将来を担う子供達のため、郷土の発展のために、今日を出発点として皆で奮起して行動しよう」との力強い呼びかけがありました。また、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会の石毛博行事務総長からは、大阪・関西万博の概要・開催意義とパビリオンの出展予定など進捗状況の説明がありました。



二階衆議院議員による基調講演



石毛事務総長による万博の進捗状況説明

大阪・関西万博は令和7年4月13日から10月13日まで開催予定で、国内外から約2,800万人もの来場者が見込まれています。

寺本雅哉県商工観光労働部長からは、万博をゲートウェイとして国内外の多くの皆さんに本県の魅力を知っていただき、ご来県いただくためのPRの場として、万博会場の関西パビリオン(仮称)内に「和歌山館(仮称)」を設置予定であることなどを説明しました。

和歌山館では「The Spiritual Heartland of Japan ～1000年の時を超え、未来へつなぐ旅～」をテーマとして、来場者に圧倒的な自然や文化・歴史など魅力ある本県の観光資源を、最先端のバーチャル技術を用いて没入感ある映像体験をしていただくことで、リアルでの体験を求めて本県を訪れるきっかけとなる仕掛けづくりを検討しております。



没入感ある映像体験で本県の魅力をPRします

県では、引き続き、万博会場から各地域への誘客促進に向けた交通ネットワークなどのインフラ整備をはじめ、県内事業者を含めた県民の皆さんに様々な形で参加いただけるように取組を進めていきます。

●きのくに線「サイクルトレイン 2022」御坊—新宮に利用区間拡大！

県内におけるサイクリング環境の更なる充実と、きのくに線の利用促進を図るため、JR西日本和歌山支社では、令和3年9月から、きのくに線「紀伊田辺駅～新宮駅」間において、自転車をそのまま車両内に持ち込めるサービス「サイクルトレイン」を実施しています。

サービスの開始からこれまでに3,300名を超える多くの皆さんの利用があり、利用者アンケートの満足度は5段階評価で4以上が9割以上を占めています。「サイクルトレインがなければ紀伊半島のサイクリングには来なかった」、「小学6年生の息子ととてもよい充実したサイクリングでした」などの意見もあり大変好評であったため、令和4年4月1日から、利用可能区間に「御坊駅～紀伊田辺駅」が追加され、「御坊駅～新宮駅」に区間が拡大されています。



「御坊—新宮」が利用可能区間に



車窓からの眺めは最高です

地巡りをお楽しみください。

サイクルトレインとして利用可能な列車は、上記区間の普通列車です。利用可能な時間帯は、平日は午前9時から終電まで、土曜日と休日は終日となっています。

県では、今後もサイクルトレインを利用したおすすめコース紹介等のPR活動を積極的に行っていきます。ぜひこの機会にサイクリングを通じた和歌山の観光

「自転車でお会いする熊野の魅力」PR動画 第7弾

■You Tubeチャンネル「熊野エリア観光ちゃんねる」等で公開中です！

「じてこでGO!! サイクルトレインdeサイクルステーション  
『和歌山県串本町編』」



新宮市在住の「セキちゃん」（東牟婁振興局職員）がサイクルトレインを利用して新宮駅から串本町まで移動し、じてこ（自転車）で散策。サイクルステーションを紹介しながら、おすすめの「食」や、橋杭岩などの「美景」を紹介します。



●WAKAYAMA800 モバイルスタンプラリー “5th season” 実施中です！

昨年7月から今年3月まで実施し、皆さんに大好評をいただいた「WAKAYAMA800 モバイルスタンプラリー “4th season”」。県及び県観光連盟では、様々な条件を満たすことで獲得できる「ペダル」で他の方と競う、ランキング機能などを新たに追加した『WAKAYAMA800 モバイルスタンプラリー “5th season”』を4月28日から実施中です。

このイベントは、県内全域に整備された800kmを超えるサイクリングロードを走りながら、より多くの皆さんに海・山・川の美しさなど、和歌山の魅力を存分に満喫していただくとともに、県内外からの誘客につなげるため、スマートフォンやタブレット端末と連動したスタンプラリーを提供するものです。

県内各地に設けた63か所（うち、山岳チェックスポットは5か所）のチェックスポットで獲得したスタンプ数に応じて、抽選で豪華賞品が当たるもので、初心者から上級者までそれぞれのレベルにあわせて参加することができます。

参加方法は至って簡単で、当スタンプラリーのWEBサイト（下記URL・QRコード）にアクセスし、ユーザー登録を行うだけです。その後は、各チェックポイントを訪れ、現地に設置された看板のQRコードを読み取ることで電子スタンプを獲得でき、獲得スタンプ数に応じて各賞に自動応募される仕組みです。

パーフェクト賞のマルチスポーツ型GPSウォッチをはじめ、ポイント数やエリアクリアなどにより様々な賞品が当たるほか、「ペダル」ポイントのランキング上位者には順位に応じて、表彰盾やサイクリング用携帯ツールセットなどを進呈します。



太平洋岸自転車道ゴール地点

県では、今後とも、サイクリングを活かした地域活性化に全力で取り組むとともに、「太平洋岸自転車道」を含めたサイクリングロードの走行環境や受入環境のより一層の充実を図ることで、「サイクリング王国わかやま」としての地位確立に向けて取り組んでいきます。

モバイルスタンプラリーチラシ

【モバイルスタンプラリーURL】

<https://wakayama800.jp/mobilerally/>

【QRコード】



これに関連して、和歌山県におけるサイクリングの魅力を発信することを目的としたPR動画も作成しております。ぜひご覧いただき、動画を参考として実際に和歌山でサイクリングを楽しんでいただいたり、これからサイクリングを始めるきっかけとしていただければと思います。

## 「高野山麓サイクリング」PR動画

■You Tubeチャンネル「高野山麓いと楽し」で公開中です！

<https://www.youtube.com/channel/UCU2IexJcz4mi3G-tlw85vsw>

### (1) 高野山麓まちなみ巡りとスイーツ散走（4分27秒）

高野山、橋本市高野口、九度山のまちなみを巡りながら、スイーツ三昧のサイクリングです。気軽にレンタサイクルで楽しめます。



### (2) 高野山麓周遊サイクリング（3分50秒）

世界遺産登録社寺や田園風景、大和街道、紀の川の景色を楽しみながら高野山麓を周遊するサイクリングです。紀の川サイクリングロードを中心とした平坦なルートをのんびりと楽しめます。



### (3) 高野山麓ヒルクライム（4分44秒）

高野山開創以来、人々は様々なルートから高野山をめざしました。高野山麓では、麓から高野山に至るいくつかのヒルクライムルートを楽しめます。



### (4) 高野山麓サイクリング（ダイジェスト）（5分25秒）

## 「自転車で出会う熊野の魅力」PR動画 第6弾

■You Tubeチャンネル「熊野エリア観光ちゃんねる」等で公開中です！

「KINAN Racing Team 山本大喜選手 花田聖誠選手 熊野を走る  
『和歌山県那智勝浦町那智山 編』」

県内唯一の自転車競技のプロチーム「KINAN Racing Team」の協力の下、PR動画を制作。動画では、山本大喜選手（JCL 初代個人総合王者）と花田聖誠選手（2019年 ジャパンカップオープンレース 優勝）がアップダウンのある那智山のコースを爽快に走り抜ける場面を収録。山本選手が熊野地方でのサイクリングの魅力語る場面も。



●和歌山電鐵社長代理「ニタマ駅長」へ和歌山県勲功爵（わかやまでナイト）称号記念レリーフを贈呈しました

県では、令和3年8月21日に、故郷わかやまを全国へ発信した功績を称え、当時和歌山電鐵貴志駅の執行役員ウルトラ駅長であった「ニタマ駅長」に「和歌山県勲功爵（わかやまでナイト）」の称号を授与しました。

「ニタマ<sup>きょう</sup>卿」となった後も、和歌山電鐵の社長代理への昇格を果たすなど、コロナ禍の中でも、明るい話題づくりに大いに貢献していることから、令和4年4月29日に貴志駅において「勲功爵記念品授与式」を開催し、「和歌山県勲功爵称号記念レリーフ」を贈呈しました。

同日に、「たま名誉永久駅長 23歳のお誕生日催事」も開催されており、たま名誉永久駅長とニタマ駅長の多くのファンから祝福されました。



仁坂知事からレリーフを贈呈しました



記念レリーフデザイン

「たま駅長」や「ニタマ駅長」といった猫の駅長たちは、国内のみならず海外からも注目を集め、多くの観光客の誘客や、地域の活性化にも大活躍しています。

県では、これまでも和歌山電鐵と連携し、「たま電車ミュージアム号」などユニークな電車を活用した観光プロモーションを行っており、引き続き「ニタマ卿」らとともに、わかやまの魅力を積極的に全国へ発信していきます。

【和歌山県勲功爵とは】

故郷わかやまを全国に発信した功績者（人に限りません）を表彰し、本県の更なる向上発展を目的とした表彰です。受賞者は、その名称の後に「卿（きょう）」を付してお呼びすることとなります。

（過去の受賞者）平成20年 三毛猫たま（初代たま駅長）  
平成23年 パンダファミリー  
令和3年 ニタマ駅長

●高野山・熊野古道エリアにおける二次交通のインバウンド対応が進んでいます！

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を訪れる多くの訪日外国人旅行者にとって、観光の際の移動手段として、「拠点となる空港や鉄道駅から観光地までの交通」（二次交通）が重要であり、その利便性向上が課題である一方、これらの地域においては、複数のバス事業者による案内情報の整備がバラバラになされ、また、多言語化も未実施であったことにより、訪日外国人旅行者にとっては非常に分かりにくい状況となっていました。



二次交通のインバウンド化対象区域

そこで、県が主導し、平成 29 年度から令和 3 年度までの 5 年間にわたり、複数の交通事業者を中心に他県や市町とも連携しながら、インバウンド観光客が多い中辺路と高野山に加え、広域周遊を促進する観点から伊勢路と小辺路も含めた二次交通のインバウンド対応に取り組んできました。

インバウンド対応のために、

- ①複数社のバス停案内図の統一、
- ②バス停への訪日外国人旅行者向けのバス乗降方法の掲示、
- ③交通拠点の複数のバス停の集約化、
- ④広域バス路線図の制作などの整備を行いました。

その結果、訪日外国人旅行者からは「バス停や駅におけるバス案内情報が上手く表記されており、分かりやすかった」「英語による車内音声で鮮明で、とても聞きやすかった」など好評のお声をいただいております。

県では今後も、コロナ後を見据えてインバウンド対応が進んでいない大辺路の整備など、紀伊半島全域における公共交通機関を利用した移動環境のより一層の向上に向けて取り組んでいきます。



デザインの統一化を図るとともに、情報数もシンプル化しました

### ●「きいちゃんの災害避難ゲーム」が「ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞 2022）」で最優秀賞を受賞しました！

一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会が強靱化に資する取組を全国から募集し、評価・表彰を行う「ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2022」において、本県オリジナルの「楽しみながら学ぶ！災害対応シミュレーションゲーム『きいちゃんの災害避難ゲーム』」が最優秀賞を受賞しました。



2つの災害対応を疑似体験できます

本ゲームでは、「津波から逃げ切ろう！」と「みんなで協力して避難所運営しよう！」の2つの災害対応を疑似体験できます。

前者は、冬場の悪天候の早朝に南海トラフ地震が発生する想定のもと、自宅での家具の転倒や、避難路でブロック塀が道を塞いでいるなどの課題を解決しながら、避難場所まで津波に追いつかれずに無事逃げ切ることのできるポイントを競う、小学校高学年以上の方が対象のゲームで、災害における事前の備えの大切さを学ぶことができます。

後者は、避難所でのトイレの使用や、避難者の車をどこに駐車するかななどの課題や発生するトラブルに対応することで得られるポイントを競う、高校生以上の方が対象のゲームで、避難所運営を疑似体験し、従事する内容や状況に応じた判断力を養うことができます。



楽しみながら実践的に学べます

県では、地域防災リーダーを育成する「紀の国防災人づくり塾」（令和3年度末時点：計2,356名育成）や体験型の防災学習の出前講座「出張！減災教室」（令和3年度末時点：計8,711名受講）等で活用するとともに、県防災企画課のホームページにも掲載しております。県内外を問わず、皆さんに災害対応について楽しみながら考えていただける教材となっておりますので、ぜひご活用ください。今後も「津波による犠牲者ゼロ」の実現に向け、ありとあらゆる対策を講じていきます。

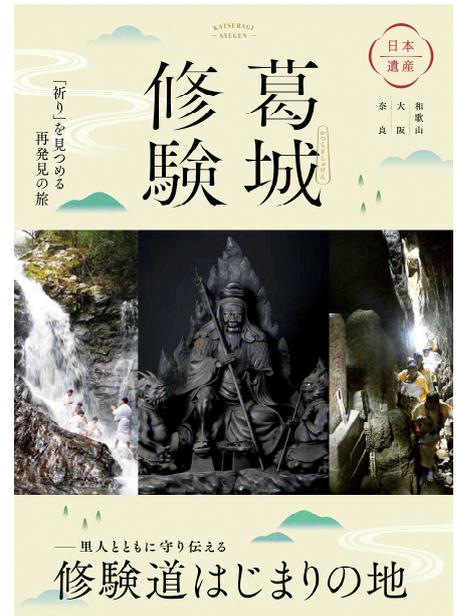
【県防災企画課ホームページ】

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/011400/kiichangame.html>

●日本遺産「葛城修験」の総合パンフレットとPR動画が完成しました

令和2年6月に日本遺産の認定を受けた「葛城修験一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」について、県では、多くの皆さんに葛城修験についての深い理解を促し、更に現地に訪れていただくことを目的として、総合パンフレットとPR動画を作成しました。

総合パンフレットは和歌山県庁や関係市町役場（和歌山市・橋本市・紀の川市・岩出市・かつらぎ町）などに配置しているほか、葛城修験の公式HPからダウンロードが可能です。また、PR動画は「和歌山県インターネット放送局」よりご視聴いただけますので、ぜひご覧ください。



総合パンフレット（表紙）

総合パンフレットダウンロードURL

<https://katsuragisyugen-nihonisan.com/pamphlet/>

PR動画

【1分版】

<https://youtu.be/j1FHbiqZ3i0>



(1分版)



(3分版)



<葛城修験とは>

大阪と和歌山の府県境を東西に走る和泉山脈、大阪と奈良の府県境に南北に聳える<sup>そび</sup>金剛山地。これら総延長 112km にも及ぶ峰々一体は「葛城」と呼ばれ、多くの神々が住まう山として人々に崇められてきました。また、今から 1300 年以上前、その山のふもとに生まれ、修験道の開祖と言われている役行者<sup>えんのぎょうじゃ</sup>が最初に修行を積んだ地であり、世界遺産である吉野・大峯と並ぶ「修験の二大聖地」と称されています。

役行者は、この地に法華経の経典を 28 か所に埋めたと伝えられ、これらの経塚や周辺の滝、社寺等を巡る修行を「葛城修験」と言います。

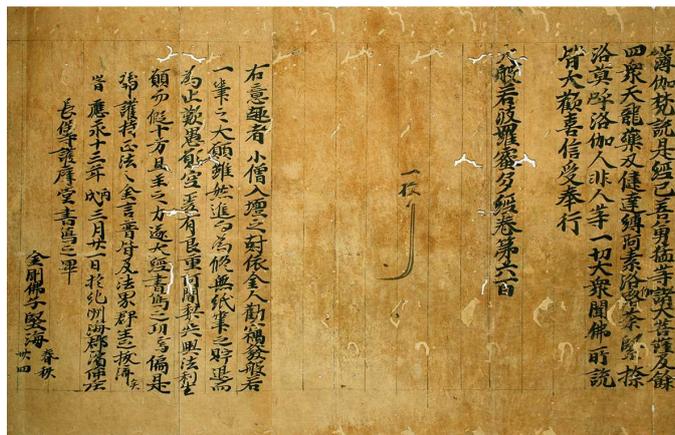
## ●特別展「きのくにの大般若経－わざわいをはらう経典－」が開催中

県立博物館では現在、特別展として「きのくにの大般若経－わざわいをはらう経典－」を開催しています。

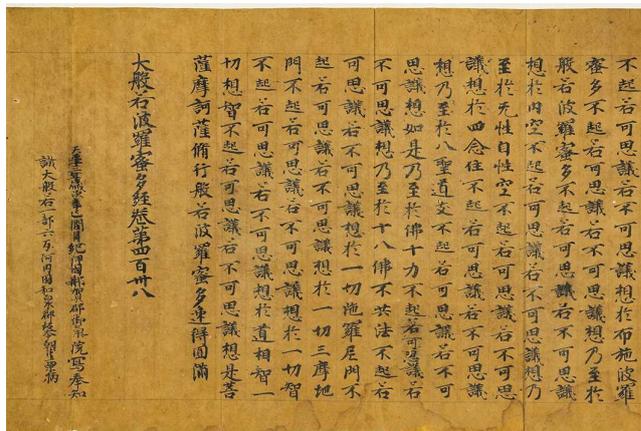
大般若経は、形あるものにこだわらないという知恵、すなわち「空」の思想を説いた経典です。

飛鳥時代に日本に伝わってきたのち、疫病や自然災害など、現世の様々なわざわいを「空」にする、つまり取り除くはたらきがあるお経として、中央から地方へ広まってきました。

県立博物館は、東京大学史料編纂所との共同研究で、小川八幡神社（紀美野町）に伝来する大般若経の調査を行い、その結果、奈良時代から室町時代までの手書きの経巻 600 巻が全て残され、特に奈良時代の経巻が 120 巻も含まれていることから、全国的にみても大変貴重な資料であることを再確認しました。



大般若経 巻 600(長保寺藏、室町時代)



大般若経 巻 438(小川八幡神社藏、奈良時代)

このたびの特別展では、小川八幡神社の大般若経を初公開するとともに、県内に残存する代表的な大般若経など計 137 点の展示を行います。

手を尽くして、各地から大般若経を入手しようとした人々のいとなみや思いに触れていただきたいと思います。

ぜひご覧ください。

## 【開催概要】

会 期 令和 4 年 4 月 23 日 (土) ～ 6 月 5 日 (日)  
開館時間 9 時 30 分～17 時 (入館は 16 時 30 分まで)  
休 館 日 毎週月曜日  
入 館 料 一般 520 円(420 円)・大学生 310 円(250 円)

\* ( ) 内は 20 名以上の団体料金

\* 高校生以下、65 歳以上の方、障害のある方、県内に在学中の外国人留学生は無料

## ● 「わかやま・まるごとスタンプラリー 第2弾」が好評実施中です

和歌山県を訪れる皆さんに、県内をより一層有意義に観光していただくため、スマートフォン等のアプリを使って、県内各地に点在する様々な歴史遺産や、清らかな水が織りなす絶景、南紀熊野のジオサイトなどを楽しみ・学びながら周遊することができる「わかやま・まるごとスタンプラリー」。

この度、令和4年2月28日をもって好評の末終了した3コースをリニューアルし、第2弾として新たにスタートしています。

獲得したスタンプ数に応じて、県特産品が抽選で当たるほか、全てのスタンプを獲得した方には「完全達成者賞」として、コース別に特製マグカップなどの記念品をプレゼントします。アプリをダウンロードし、必要項目を登録するだけで参加できますので、県内各地を巡って心身のリフレッシュを図る「蘇りの地、わかやま」の旅を、ぜひお楽しみください。



専用アプリ画面

【実施期間】令和4年3月29日～令和5年2月28日

【内 容】テーマ別に3コースを設定

コース①「わかやま歴史物語 人物編（神話～安土桃山）」

神話の時代から近代に至るまで、県内各地に残る歴史を100の旅モデルとして紹介している「わかやま歴史物語」。今回はその中から神話～安土桃山時代に活躍した人物にゆかりのある26の旅モデルを巡ります。

専用冊子➤



コース②「水の国、わかやま。」2nd Season

「水の国」と呼ばれる自然豊かな和歌山県には、それを育む美しく豊かな水環境があります。景観や絶景、温泉、食、アクティビティなど水にまつわる観光資源を紹介している「水の国、わかやま。」。美しい水の景色を巡るコースに加え、水にまつわる体験メニューをご紹介します。



コース③「南紀熊野ジオパーク」2nd Season

プレートの沈み込みに伴って生み出された3種類の大地が作る独特の景観、温暖湿潤な気候がもたらす多種多様な動植物、熊野信仰など、数多くの優れた自然や文化を体感できるスポットを巡ります。



【参考】和みわかやまwithスタンプラリー

グルメや温泉、お土産など全237店舗で使える“お得なクーポン付き”スタンプラリー \*当アプリ内で令和4年8月31日まで継続実施中！

専用アプリのダウンロードは下記QRコードから



●ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）のご案内

ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。これまで多くの御寄附と力強い応援メッセージを数多くいただいております。

県では、ふるさと和歌山応援寄附を「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」や「がん対策の充実」などの分野で活用させていただいております。

御寄附につきましては、申出からクレジット決済等までを同時に行うことが可能なふるさと納税総合サイトをご利用ください。

和歌山県外にお住まいで1万円以上の御寄附をいただいた方には、和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）として県が認定した商品等の中から、事業者の協力を得て選定した返礼品の中から1品をお選びいただけます。和歌山県が誇る優良産品をぜひご堪能ください。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載しています。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附にご協力いただきますようお願い申し上げます。

ふるさと和歌山応援サイト(和歌山県へのふるさと納税)

「ふるさと」と聞いてみなさんが想像するものは何でしょう。  
和歌山県では、「元気な和歌山」を創造していくため、さまざまな施策の推進に取り組んでいます。  
ぜひ、皆様も寄附を通じてふるさと和歌山を応援してください。



ふるさと和歌山応援サイト

検索

各ポータルサイトのQRコードはこちら

ふるさとチョイス

ふるなび

ANAのふるさと納税

ふるラボ

JALふるさと納税



\*\*\*\*\* ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）に関しましては \*\*\*\*\*

★お問合せ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 棚野、宮田、小弓場

電話 073-441-2186(直通)

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

★お問合せ窓口★

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 前

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059

●ふるさと和歌山応援寄附を活用して行う県の取組

<p>1 新型コロナウイルス感染症対策【お礼の品なし】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の対策をすすめます。</p> 	<p>8 地元企業への就職を促進する奨学金返還支援</p> <p>和歌山の経済を牽引する製造業や情報通信業の将来の担い手となる人材の確保を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理系の大学生等を対象に県内の製造業や情報通信業などの業務を行う企業に就職し、3年勤務した場合、奨学金の返還を最大100万円助成します。</li> </ul> 
<p>2 生涯スポーツ・文化の振興</p> <p>全国規模の大会の開催を通じて、生涯スポーツの振興と文化力の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワールドマスターズゲームズ関西</li> <li>全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会等の開催をすすめます。</li> </ul> 	<p>9 学校図書館や県立図書館の蔵書の充実</p> <p>和歌山の未来を担う子供の育成や県民の読書文化の向上のため、学校図書館や県立図書館の蔵書の整備をすすめます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県立学校の図書館の蔵書の充実をすすめます。</li> <li>県立図書館の蔵書の充実をすすめます。</li> </ul> 
<p>3 子供たちの教育環境の充実【お礼の品なし】</p> <p>各学校において、「教育環境の充実」、「特色ある学校づくり」などをすすめます。</p> <p>母校など寄附をしたい高等学校（私立も含む）や特別支援学校があれば指定することができます。</p> 	<p>10 わかやまの美しい海づくり</p> <p>黒潮の恵みを受ける和歌山は、リアス式の美しい風景に彩られた約652kmにも及ぶ長い海岸線と数多くの海水浴場を有しています。ふるさと海を守り、より美しくして海のレクリエーションを盛んにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>白良浜海水浴場</li> <li>片男波海水浴場</li> </ul> <p>などの砂浜の整地をすすめます。</p> 
<p>4 がん対策の充実</p> <p>和歌山はがんで亡くられる方が多い県です。がんになっても安心して治療が受けられ、自分らしく生きることができるよう支援制度を充実していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>所得等が一定以下のがん患者の方に対して、先進医療の一部を補助します。</li> <li>若年がん患者の方に対して、生殖機能の温存や療養生活の充実に向けた支援を行います。</li> </ul> 	<p>11 わかやまの文化財の保護</p> <p>和歌山県には重要な歴史資産がたくさんあり、全国で国宝は6番目、重要文化財は7番目に多いところです。ふるさとの大切な文化財を保全して未来に伝え、郷土の活性化に寄与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国・県指定文化財の建造物修理や史跡整備等を支援します。</li> </ul> 
<p>5 犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援</p> <p>和歌山県は、犬・猫の殺処分をなくすことを目標に、地域猫活動や新しい飼い主を探す活動に取り組む地域住民やボランティアを支援しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの活動で約5,300匹の野良猫に不妊去勢手術が施され、新しい家族が見つかった犬・猫は約2,000匹います。この支援を継続して、早期に「殺処分ゼロ」を実現します。</li> </ul> 	<p>12 大切なふるさとの森を守り育てる</p> <p>和歌山は古くから「木の国」と呼ばれ、県土の77%が森林です。森林は洪水や濁水の緩和、生物多様性の保全、地球温暖化防止と限りない恵みを与えてくれます。かけがえのない森林を守り育て、継承していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>和歌浦地区等の松くい虫防除対策をすすめます。</li> </ul> 
<p>6 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用</p> <p>和歌山の世界遺産をかけがえのないふるさとの宝、人類共通の宝として保全・活用し、次世代に継承していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参詣道の維持管理・パトロールを行います。</li> <li>世界遺産・周辺地域の風水害等に対する緊急修繕等を行います。</li> </ul> 	<p>13 わかやまのナショナル・トラスト</p> <p>和歌山は、みどり豊かな山々と雄大なリアス式海岸など、かけがえのない自然や歴史的資産を数多く有しています。これらの自然を保全し、次の世代に引き継いでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県民の公有財産として未永く保全していくために、自然環境の整備や土地の公有化をすすめます。</li> </ul> 
<p>7 南紀熊野ジオパークの推進</p> <p>令和元年7月に完成した「南紀熊野ジオパークセンター」を拠点に、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取組を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>南紀熊野ジオパークセンターの充実をすすめます。</li> </ul> 	<p>14 わかやまの農林水産業の振興</p> <p>和歌山県の農林水産業は、地域経済や雇用を支える重要産業であり、食料供給や自然・景観保全など、様々な役割を果たしています。大切な農林水産業を振興し、次の世代に引き継いでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農林水産業の担い手の確保・育成対策を充実させます。</li> <li>農林水産業の生産性の向上をすすめます。</li> <li>農林水産業の魅力を国内外へ発信します。</li> </ul> 

※ 充当事業につきましては、状況の変化等により、変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。  
 ※ お寄せいただいた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。

## ●和歌山の食の総合ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」の御案内

県では、県産品を生産販売する県内事業者の商品販売ページを紹介するインターネットショッピングモール「おいしく食べて和歌山モール」を開設しています。和歌山の特産品である果物や果実加工品、しらす・干物などの水産加工品、菓子類など様々な商品をご紹介します。

大手ショッピングモールサイトと自社のサイトで同時に販売しているなど、同一の商品について販売サイトが複数ある場合は、商品購入用リンクを並列して複数掲載し、消費者の好みに合わせて購入できるようにしています。

また、今月下旬からは、日本一の生産量を誇る梅（古城梅や南高梅など）の収穫がはじまります。本サイトでも、青梅をはじめ、梅干し、梅酒、梅エキスなど様々な関連商品をご紹介します。

「おいしく食べて和歌山モール」を通じ“食の宝庫和歌山”の魅力を感じていただくとともに、和歌山県の商品を購入される際は、ぜひご活用ください。



<おいしく食べて和歌山モールはこちら>

<https://oishii-wakayama.com/>



おいしく食べて和歌山モール



**イベント情報（5月下旬～6月下旬）**

**\*新型コロナウイルス感染症の影響等により、規模の縮小や中止となる場合があります。最新の情報は、各主催者へお問い合わせください。**

開催日・期間	行事名	場所	問い合わせ先
5月下旬	黒江めった祭り	黒江公民館周辺（海南市）	黒江めった祭り実行委員会 073-495-2573
5月下旬	砂まつり大会	白良浜海水浴場（白浜町）	白浜観光協会 0739-43-5511
6月上旬	有間皇子記念式典、献湯祭、温泉神社式典	温泉神社（白浜町）	白浜観光協会 0739-43-5511
6月下旬	夏越大祓式「茅の輪くぐり」	熊野本宮大社（田辺市）	熊野本宮大社 0735-42-0009

**自然・風物情報（5月下旬～6月下旬）**

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
5月下旬	サツキ見頃	観音寺（上富田町） 粉河寺（紀の川市）	上富田町観光協会 0739-47-0550 粉河寺 0736-73-4830
6月上旬	ホタル鑑賞	日高川町 ほたるの里（かつらぎ町）	日高川町商工会 0738-23-3434 かつらぎ町観光協会 0736-22-0300
6月中旬	あじさい見頃	恋し野の里あじさい園（橋本市） 花園あじさい園（かつらぎ町） 仁平寺（有田市）	恋野地区公民館 0736-33-2458 花園あじさい園 0737-26-0888 有田市産業振興課 0737-22-3624
6月下旬	スモモの収穫最盛期	かつらぎ町、田辺市 新庄他	JA 紀北かわかみ 0736-42-3000 JA 紀南 0739-23-3450

～編集後記～

新緑の季節となりました。みなさまいかがお過ごしでしょうか。  
今月も「和歌山だより」をご覧いただきありがとうございます。

4月号で、小学生時代の新学期の教科書について書かせていただいたところ、「その気持ち、よくわかります」とのご感想をいただきうれしく思いました。今月も小学生の頃のお話です。ある日、学校で好きな言葉を選んで発表しようという宿題ができました。みなさんにも、大切にしている言葉、勇気をくれる言葉があると思います。家に帰って考え、私が教室で発表したのは、「継続は力なり」でそれ以降、座右の銘となりました。しかし、その言葉の前に一度ノートに書いて消しゴムで消した言葉がありました。それは、「転んでもただでは起きぬ」です。当時の私には、その言葉に欲深いといったイメージがあって、子供心にみんなの前で発表することにためらいがあったのかもしれませんが。

ところが、その後の人生で「転んでもただでは起きぬ」という言葉に何度救われたか知りません。学業や仕事、人生の中で失敗や挫折に1度も出会わない人は稀です。私も例外ではありません。困った場面に置かれたとき、私は、3分間くらい悩んだり落ち込んだりした後、何か困難を切り抜ける糸口やピンチをチャンスに変えるヒントはないかなと探します。不思議なもので、ヒントやチャンスの種は必ずと言っていいほど見つかります。そして、またがんばろうという気持ちわき上がってくるのです。

なかなか収束の兆しが見えないコロナ禍で、コロナ前のように活動できないと感じていらっしゃる方は少なくないと思います。冒頭の知事メッセージにもありますように、直接お会いして県の施策や考えをお伝えしていた県の行政報告会をテレビ放送に変えざるを得なくなりました。しかし、そのおかげで、県庁ホームページで後日、県外にお住まいのみなさまにもご覧いただけるようになりました。「人間万事塞翁が馬」、困ったことばかりではありません。みなさま、よろしければ、ご覧ください。

みなさま、お身体にはくれぐれもお気をつけてお過ごしください。



知事室 秘書課長 西山 雅美

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますので、ぜひご覧ください。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。（下記のFAX（様式自由）、E-Mail等でお願います。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010500/furusato/>

\*個人情報につきましては、「和歌山だより」  
の発行以外の目的には、使用いたしません。



2022年（令和4年）5月 NO.169

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2026